

だい かいしやう どうじやう 第3回省エネ道場まとめ

かんぼつざい つく 間伐材でコースターを作ろう

1 もり 森のはたらき

もり にたくさん 生えている木は、空気中の「二酸化炭素」と根から吸い上げた「水」を葉の中に取りこみ、太陽の「光」を吸収して、木が成長するために必要な栄養とわたしたちが生きていくために必要な「酸素」をつくりだします。このはたらきを「光合成」といいます。

2 にほん 日本は「森の国」！

日本は、国の面積の70%が森です。森は、自然にできた「天然林」と人の手でつくられた「人工林」に分けられ、人工林は日本の森の半分を占めています。人工林は、人が作った森なので、人がしっかりと手入れをする必要があります。

3 にほん 日本の森が荒れ放題！？

日本の森は、手入れをする人が少なくなっているため、荒れ放題の暗い森が多くなっています。手入れのされていない森は、木と木の間がせまいため、お互いの成長をじゃましてしまいます。また、太陽の光が地面まで届かないため、暗い森になってしまいます。

4 き 木を切ることは悪いこと？

木と木の間に適度な空間をつくり、残された成長のいい木に太陽の光が当たるように、成長の悪い木を切ることを「間伐」といいます。間伐をすることで、地面まで太陽の光が届き、背の低い木や草なども育ち、生き物豊かな明るい森になります。

木を切ることは悪いこと、と思っている人もいますが、人工林に「間伐」は必要なことなのです。